

2023 年度 データサイエンスへの誘い **A**
アンケートの集計結果

和歌山大学

データ・インテリジェンス教育研究部門

- ・実施対象科目：
 - ・ データサイエンスへの誘い A (第 1 クォータ科目)
- ・実施期間：

2023 年 7 月 26 日 - 2023 年 8 月 31 日
- ・実施対象者：和歌山大学学部 1 年生全員を主とする受講生 (計：1031 名)
 - 教育学部：193 名
 - 経済学部：328 名
 - システム工学部：345 名
 - 観光学部：124 名
 - 社会インフォマティクス学環：41 名
- ・アンケートの実施方法：「教育サポートシステム」を用いたアンケート

○「データサイエンスへの誘い A」アンケート結果

1 : この授業を受ける前に何を参考にしましたか 【選択式：5者択1】

	回答	人数	割合
1	シラバスだけでなく他の資料や情報も入手して参考にした	41	10%
2	シラバスを熟読し、参考にした	82	21%
3	シラバスに軽く目を通し、参考にした	209	53%
4	シラバス以外の資料や情報のみを参考にした	11	3%
5	参考にした資料や情報は全くなかった	54	14%
	合計	397	100%

コメント：過半数の学生が、「シラバスに軽く目を通し、参考にした」を回答していることが分かったが、全く見ていない学生も17%存在している。この講義は、必修科目/必履修科目のため、シラバスを確認する必要性を感じていない学生も一定数いることが分かった。これらの傾向は、昨年度の授業評価アンケートと同様である。シラバスにPCの準備や成績評価方法、レポート提出方法などの説明を記載しているが、シラバスに書かれていたとしても、初回の講義の中で重要な項目については、周知した方が良いと思われる。

2 : 授業の目的は明確でしたか 【選択式：5者択1】

	回答	人数	割合
1	非常にそう思う	184	46%
2	ややそう思う	170	43%
3	どちらとも言えない	29	7%
4	あまりそう思わない	11	3%
5	全くそう思わない	3	1%
	合計	397	100%

コメント：89%の学生が「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答している。授業の目的については、多くの学生が理解していることが分かった。この傾向は、2020年度から変わっていない。

3 : 成績評価の観点・方法などがきちんと説明されていましたか 【選択式：5者択1】

	回答	人数	割合
1	非常にそう思う	198	50%
2	ややそう思う	148	37%
3	どちらとも言えない	36	9%
4	あまりそう思わない	13	3%
5	全くそう思わない	2	1%
	合計	397	100%

コメント： **87%**の学生が「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答している。成績評価の観点・方法については、多くの学生が理解していることが分かった。この質問項目は、**2022**年度からの項目である。なお、傾向は**2022**年度と変わっていない。

4： 授業者はよく聞き取れる話し方でしたか 【選択式： **5** 者択 **1**】

	回答	人数	割合
1	非常にそう思う	187	47%
2	ややそう思う	147	37%
3	どちらとも言えない	43	11%
4	あまりそう思わない	17	4%
5	全くそう思わない	3	1%
	合計	397	100%

コメント： **84%**の学生が「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答している。この講義は、基本的にはオンデマンド型講義で実施しており、問題のないことが分かった。この質問項目は、**2022**年度からの項目である。なお、傾向は**2022**年度と変わっていない。

5： 教員は学習の理解度を把握しながら進めていましたか 【選択式： **5** 者択 **1**】

	回答	人数	割合
1	非常にそう思う	103	26%
2	ややそう思う	150	38%
3	どちらとも言えない	92	23%
4	あまりそう思わない	38	10%
5	全くそう思わない	14	4%
	合計	397	100%

コメント： 64%の学生が「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答している。この講義は、基本的にはオンデマンド型講義で実施しており、学生との質問などは、moodle、電子メール、LINEチャットボット経由、オンラインサポート室で実施している。また、第8回目は同時双方向型で実施している。今後、学生の理解度の把握の方法についても検討する。この質問項目は、2022年度からの項目である。なお、傾向は2022年度と変わっていない。

6： 授業で使用される教材（テキスト、資料等）や設備・機器は適切に使用されていましたか 【選択式：5者択1】

	回答	人数	割合
1	非常にそう思う	183	46%
2	ややそう思う	145	37%
3	どちらとも言えない	42	11%
4	あまりそう思わない	21	5%
5	全くそう思わない	6	2%
	合計	397	100%

コメント： この講義の授業資料は、パワーポイント資料に動画と音声による説明を追加し、動画形式に変換した後に配信をしている。また、講義資料はPDFとして配布している。83%の学生が「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答しており、学生は効果的な使い方の授業資料であると認識していることが確認できた。

7： 授業の提示方法（板書、ビデオ等）は適切でしたか 【選択式：5者択1】

	回答	人数	割合
1	非常にそう思う	200	50%
2	ややそう思う	141	36%
3	どちらとも言えない	40	10%
4	あまりそう思わない	13	3%
5	全くそう思わない	3	1%
	合計	397	100%

コメント： この講義の授業資料は、パワーポイント資料に動画と音声による説明を追加し、動画形式に変換した後に配信をしている。また、Excelの演習は教員が操作している様子を録画し、動画形式で配信している。86%の学生が「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答している。動画配信サーバの視聴ログからは、多くの

学生は **Excel** の演習動画をなんども繰り返し視聴しながら、演習を実行していることが確認できており、この講義形式により教育効果が得られていると考えている。

8 : 学生参加の機会は十分にありましたか 【 選択式： 5 者択 1 】

	回答	人数	割合
1	非常にそう思う	133	34%
2	ややそう思う	145	37%
3	どちらとも言えない	83	21%
4	あまりそう思わない	29	7%
5	全くそう思わない	7	2%
	合計	397	100%

コメント： 71%の学生が「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答している。この講義はオンデマンド型講義を中心として構成されているが、第8回の同時双方向型のフォローアップ講義を実施しており、多くの学生、「学生参加」の機会があると感じたと考えられる。

9 : ICT の利活用を進めるような授業構成でしたか 【 選択式： 5 者択 1 】

	回答	人数	割合
1	非常にそう思う	274	69%
2	ややそう思う	91	23%
3	どちらとも言えない	24	6%
4	あまりそう思わない	5	1%
5	全くそう思わない	3	1%
	合計	397	100%

コメント： 92%の学生が「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答している。この講義は、オンデマンド型講義であり、また、**Excel** の演習を中心とした講義のため、多くの学生が、ICT の利活用を進めていると感じたと考えられる。

10 : 学生の質問に対する教員の回答は明快でしたか 【 選択式： 5 者択 1 】

	回答	人数	割合
1	非常にそう思う	131	33%
2	ややそう思う	164	41%
3	どちらとも言えない	65	16%
4	あまりそう思わない	31	8%
5	全くそう思わない	6	2%
	合計	397	100%

コメント： **74%**の学生が「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答している。この講義は、**Moodle**上のフォーラム、電子メール、同時双方向型のサポート室、**LINE**チャットボット経由による質問など、多くの質問ための方法があり、多くの学生が、「学生の質問に対する教員の回答は明快」と感じたと考えられる。

11： この授業に関する通常授業期間の学修時間はどれくらいですか（授業時間を除く、1週間あたりの平均） 【選択式： 4 者択 1】

	回答	人数	割合
1	4.5時間以上	31	8%
2	3時間～4.5時間	105	26%
3	1.5時間～3時間	154	39%
4	1.5時間以下	107	27%
	合計	397	100%

コメント： 学修時間 **1.5** 時間以上の割合は、**73%**であった。大半の学生が1週間あたり **1.5** 時間以上の学修を行っていることがわかった。また、**3** 時間以上学修したと回答した学生は **34%**であった。一定程度の学修量の確保が行えていると考えていると考えている。これは、動画視聴の周知の徹底の効果であると考えている。

12： この授業はシラバスの内容に則した授業でありましたか。 【選択式： 5 者択 1】

	回答	人数	割合
1	非常にそう思う	167	42%
2	ややそう思う	177	45%
3	どちらとも言えない	42	11%
4	あまりそう思わない	8	2%
5	全くそう思わない	3	1%
	合計	397	100%

コメント： **87%**の学生が「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答している。この講義は、シラバスに則して実施しており、多くの学生はシラバスに則っていると考えていることが分かった。なお、このアンケート項目は **2023** 年度から追加されたものである。

13： この授業の満足度を評価してください 【選択式： 5 者択 1】

	回答	人数	割合
1	90%以上	130	33%
2	80%	126	32%
3	70%	96	24%
4	60%	30	8%
5	50%以下	15	4%
	合計	397	100%

コメント： 70%以上満足したと回答は、全体の 88%であった。ほとんどの学生がこの講義に満足していることが分かった。

14： 授業についてよかった点があれば記述してください。【記述式： 300 以内】

この授業の良かった点として記述された回答は 22 件（特になし等を除く）あった。全ての回答をそのまま示す。

- 授業内容をゆっくり進めてくれたいおかげで理解しやすかった点
- 面白い内容を学ぶことができた点。
- 自分のペースで進められた。
- 今まで知らなかったことなど詳しく知ることができて聞いていて楽しかったです。クイズ形式だったので、理解がしやすかったです。
- この授業がなければ一生触れなかったかもしれない様々な技術に触れ、また、そのことによってより ICT や情報技術に興味を惹かれまひた。
- 丁寧に解説してくれた。
- データサイエンスについて、パソコンの機能について たくさんの知識を学習することができた。
- オンデマンド形式で、課題の手順がいつでも何度でも確認できてよかった
- ワードやエクセル パワーポイントの課題が他講義で出たときにスムーズにできた
- word や excel の活用や、その注意点などを知れた
- オンデマンド型だったので、都合のいい時間に取り組みやすかった。
- Word や Excel について学べたことです。
- 話が面白かった。
- データの利活用方法の課題が毎回出ていて、体験という形で演習できた点。
- 話し方が上手くて内容が理解しやすい点
- データサイエンスの初歩的なところを学べた点
- 演習の解説も動画内にあったところでした。
- 課題の説明が丁寧によかった。

- 分かりやすく授業を展開して頂いた点
- 解説通りに行えば課題を行う事はそこまで難易度の高い内容ではなかった点。
- 分かりやすかった
- 社会に出たときに基本的に必要となるパソコン技術を習得する機会となった。

15 : 授業について改善してほしい点があれば記述してください。 【 記述式：
300 以内 】

この授業の改善してほしい点として記述された回答は **17** 件（特になし等を除く）あった。全ての回答をそのまま示す。

- 小テストの問題、解説が不適。
- 以前小テストの問題に対する答え方が理にかなっていない部分があったので、小テストの問題と回答をしっかりと作ってほしい。
- わからないことがあっても質問をしにくかった
- 動画の中で、先生が間違った部分などカットしていただけると同じ間違いをしなくて済むので、その部分を改善してほしいです。
- 見る動画が多く、苦勞した。
- 初心者でもなんとかできる範囲の難易度であったのは確かだが、もっとわからない人の気持ちを汲んだ授業であればよいと感じた。最後のバックアップ授業だけでなくはじめに説明の授業もあると、教員と学生の間で受講の方法やマナーなどを共有でき、その後の問題が起こりにくくなるのではないかと感じた。
- 最終回のライブ配信の際の出席確認がずさんだったこと。
- 小テストが曖昧な問題が多かったため、改善してほしいです。
- 演習の説明をもう少し詳しくしてほしいです。
- 小テストの問題文が曖昧だったり、多義的なことがまれにあったので、わかりにくいと感じることがあった。
- フォローアップ講義を受けることができる教室を用意してくれるのは良いが、ネット環境にも配慮してほしい。
- フォローアップ講義について、平等に確実に出席が取れないのならオンデマンドでいいと思う。内容もよくない例をつるし上げるようなものを感じた。いい例の良いところを紹介するのでよいのでは？
- 最後の回のチームズの授業は何回かに分けて行うなどの工夫をしてほしいです。
- 授業の難易度が難しく感じる時がありました。
- 他の授業と違って、この授業から何を学ばよいかかわからなかった。課題も多く、課題の動画でも、手順の説明を不十分のまま自己完結で進める場面が多く苦勞してことが何回かあった。

- 課題が難しい
- 週一のオンデマンドの授業であるため、何年も授業の動画を使いまわしていただいても構わないのですが、レポート提出のある演習で利用しているソフトやサービスが終了していたことがあったので事前に確認していただきたいです。

○ まとめ

授業実施形態ならびに教材の提示方法について、受講者から概ね好意的な意見が得られた。また授業の難易度に関しては、授業時間以外の学修時間をみても適切な時間に収まっており、適度であると考えられる。授業全体の満足度をみても約9割の回答者が70%以上と答えており、おおむね満足が得られる結果となった。

- 課題量の調整について
 - 課題量については多いと感じている学生もいるが、課題の解決に費やしている時間をみると、予習や復習に必要と考えられる時間内に収まっている。アンケートの記述をみる限り、特に問題ない学生も多いと考えられるため、今後も同程度の課題量としたい。
- 難易度調整について
 - 難易度が高いと考えている学生もいるが、アンケート結果をみると、ほとんどの内容について、動画教材の中で丁寧に説明ができていると考えられる。
- オンライン対応の充実について
 - この授業で提供しているさまざまなオンラインサポート（Moodle上の電子フォーラム、電子メール、オンラインサポート室、LINEチャットボット）について、学生からの高い評価を確認できている。ただし、サポートを活用できている利用者は必ずしも多いとは言えないが、ほとんどの学生は、動画内での説明で十分に理解できており、質問の必要がない可能性も高い。

2023 年度 データサイエンスへの誘い **B**
アンケートの集計結果

和歌山大学

データ・インテリジェンス教育研究部門

- ・実施対象科目：
 - ・ データサイエンスへの誘い **B** (第 **2** クォータ科目)
- ・実施期間：

2023 年 7 月 26 日 - 2023 年 8 月 31 日
- ・実施対象者：和歌山大学学部 **1** 年生全員を主とする受講生 (計：**1077** 名)
 - 教育学部：**203** 名
 - 経済学部：**338** 名
 - システム工学部：**372** 名
 - 観光学部：**123** 名
 - 社会インフォマティクス学環：**41** 名
- ・アンケートの実施方法：「教育サポートシステム」を用いたアンケート

○「データサイエンスへの誘い B」アンケート結果

1 : この授業を受ける前に何を参考にしましたか 【選択式：5者択1】

	回答	人数	割合
1	シラバスだけでなく他の資料や情報も入手して参考にした	40	10%
2	シラバスを熟読し、参考にした	81	20%
3	シラバスに軽く目を通し、参考にした	210	52%
4	シラバス以外の資料や情報のみを参考にした	17	4%
5	参考にした資料や情報は全くなかった	56	14%
	合計	404	100%

コメント：過半数の学生が、「シラバスに軽く目を通し、参考にした」を回答していることが分かったが、全く見ていない学生も**14%**存在している。この講義は、必修科目/必履修科目のため、シラバスを確認する必要性を感じていない学生も一定数いることが分かった。これらの傾向は、昨年度の授業評価アンケートと同様である。シラバスに**PC**の準備や成績評価方法、レポート提出方法などの説明を記載しているが、シラバスに書かれていたとしても、初回の講義の中で重要な項目については、周知した方が良いと思われる。

2 : 授業の目的は明確でしたか 【選択式：5者択1】

	回答	人数	割合
1	非常にそう思う	178	44%
2	ややそう思う	176	44%
3	どちらとも言えない	39	10%
4	あまりそう思わない	9	2%
5	全くそう思わない	2	0%
	合計	404	100%

コメント：**88%**の学生が「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答している。授業の目的については、多くの学生が理解していることが分かった。この傾向は、**2020**年度から変わっていない。

3 : 成績評価の観点・方法などがきちんと説明されていましたか 【選択式：5者択1】

	回答	人数	割合
1	非常にそう思う	190	47%
2	ややそう思う	161	40%
3	どちらとも言えない	40	10%
4	あまりそう思わない	12	3%
5	全くそう思わない	1	0%
	合計	404	100%

コメント： **87%**の学生が「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答している。成績評価の観点・方法については、多くの学生が理解していることが分かった。この質問項目は、**2022**年度からの項目である。なお、傾向は**2022**年度と変わっていない。

4： 授業者はよく聞き取れる話し方でしたか 【選択式： **5** 者択 **1**】

	回答	人数	割合
1	非常にそう思う	192	48%
2	ややそう思う	158	39%
3	どちらとも言えない	39	10%
4	あまりそう思わない	13	3%
5	全くそう思わない	2	0%
	合計	404	100%

コメント： **87%**の学生が「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答している。この講義は、基本的にはオンデマンド型講義で実施しており、問題のないことが分かった。この質問項目は、**2022**年度からの項目である。なお、傾向は**2022**年度と変わっていない。

5： 教員は学習の理解度を把握しながら進めていましたか 【選択式： **5** 者択 **1**】

	回答	人数	割合
1	非常にそう思う	102	25%
2	ややそう思う	161	40%
3	どちらとも言えない	94	23%
4	あまりそう思わない	37	9%
5	全くそう思わない	10	2%
	合計	404	100%

コメント： 65%の学生が「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答している。この講義は、基本的にはオンデマンド型講義で実施しており、学生との質問などは、moodle、電子メール、LINEチャットボット経由、オンラインサポート室で実施している。また、第8回目は同時双方向型で実施している。今後、学生の理解度の把握の方法についても検討する。この質問項目は、2022年度からの項目である。なお、傾向は2022年度と変わっていない。

6： 授業で使用される教材（テキスト、資料等）や設備・機器は適切に使用されていましたか 【選択式：5者択1】

	回答	人数	割合
1	非常にそう思う	179	44%
2	ややそう思う	157	39%
3	どちらとも言えない	43	11%
4	あまりそう思わない	23	6%
5	全くそう思わない	2	0%
	合計	404	100%

コメント： この講義の授業資料は、パワーポイント資料に動画と音声による説明を追加し、動画形式に変換した後に配信をしている。また、講義資料はPDFとして配布している。83%の学生が「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答しており、学生は効果的な使い方の授業資料であると認識していることが確認できた。

7： 授業の提示方法（板書、ビデオ等）は適切でしたか 【選択式：5者択1】

	回答	人数	割合
1	非常にそう思う	208	51%
2	ややそう思う	143	35%
3	どちらとも言えない	35	9%
4	あまりそう思わない	16	4%
5	全くそう思わない	2	0%
	合計	404	100%

コメント： この講義の授業資料は、パワーポイント資料に動画と音声による説明を追加し、動画形式に変換した後に配信をしている。また、Excelの演習は教員が操作している様子を録画し、動画形式で配信している。86%の学生が「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答している。動画配信サーバの視聴ログからは、多くの

学生は **Excel** の演習動画をなんども繰り返し視聴しながら、演習を実行していることが確認できており、この講義形式により教育効果が得られていると考えている。

8 : 学生参加の機会は十分にありましたか 【 選択式： 5 者択 1 】

	回答	人数	割合
1	非常にそう思う	126	31%
2	ややそう思う	154	38%
3	どちらとも言えない	82	20%
4	あまりそう思わない	35	9%
5	全くそう思わない	7	2%
	合計	404	100%

コメント： **69%**の学生が「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答している。この講義はオンデマンド型講義を中心として構成されているが、第**8**回の同時双方向型のフォローアップ講義を実施しており、多くの学生、「学生参加」の機会があると感じたと考えられる。

9 : **ICT** の利活用を進めるような授業構成でしたか 【 選択式： 5 者択 1 】

	回答	人数	割合
1	非常にそう思う	278	69%
2	ややそう思う	101	25%
3	どちらとも言えない	20	5%
4	あまりそう思わない	4	1%
5	全くそう思わない	1	0%
	合計	404	100%

コメント： **94%**の学生が「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答している。この講義は、オンデマンド型講義であり、また、**Excel** の演習を中心とした講義のため、多くの学生が、**ICT** の利活用を進めていると感じたと考えられる。

10 : 学生の質問に対する教員の回答は明快でしたか 【 選択式： 5 者択 1 】

	回答	人数	割合
1	非常にそう思う	139	34%
2	ややそう思う	169	42%
3	どちらとも言えない	61	15%
4	あまりそう思わない	26	6%
5	全くそう思わない	9	2%

コメント： **76%**の学生が「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答している。この講義は、**Moodle**上のフォーラム、電子メール、同時双方向型のサポート室、**LINE**チャットボット経由による質問など、多くの質問ための方法があり、多くの学生が、「学生の質問に対する教員の回答は明快」と感じたと考えられる。

11： この授業に関する通常授業期間の学修時間はどれくらいですか（授業時間を除く、**1週間**あたりの平均） 【選択式：**4**者択**1**】

	回答	人数	割合
1	4.5時間以上	33	8%
2	3時間～4.5時間	101	25%
3	1.5時間～3時間	157	39%
4	1.5時間以下	113	28%
	合計	404	100%

コメント： 学修時間**1.5**時間以上の割合は、**72%**であった。大半の学生が1週間あたり**1.5**時間以上の学修を行っていることがわかった。また、**3**時間以上学修したと回答した学生は**33%**であった。一定程度の学修量の確保が行えていると考えていると考えている。これは、動画視聴の周知の徹底の効果であると考えている。

12： この授業はシラバスの内容に則した授業でありましたか。 【選択式：**5**者択**1**】

	回答	人数	割合
1	非常にそう思う	175	43%
2	ややそう思う	173	43%
3	どちらとも言えない	48	12%
4	あまりそう思わない	6	1%
5	全くそう思わない	2	0%
	合計	404	100%

コメント： **86%**の学生が「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答している。この講義は、シラバスに則して実施しており、多くの学生はシラバスに則っていると考えることが分かった。なお、このアンケート項目は**2023**年度から追加されたものである。

13： この授業の満足度を評価してください 【選択式：**5**者択**1**】

	回答	人数	割合
1	90%以上	131	32%
2	80%	134	33%
3	70%	87	22%
4	60%	33	8%
5	50%以下	19	5%
	合計	404	100%

コメント：70%以上満足したと回答は、全体の87%であった。ほとんどの学生がこの講義に満足していることが分かった。

14：授業についてよかった点があれば記述してください。【記述式：300以内】

この授業の良かった点として記述された回答は24件（特になし等を除く）あった。全ての回答をそのまま示す。

- 授業内容をゆっくり進めてくれたいおかげで理解しやすかった点
- 社会に出たときに基本的に必要なパソコン技術を習得する機会となった。
- パソコンの使い方を学ぶことができた点。
- 自分のペースで進められた。
- オンデマンドで理解ができるまで見直せることや、メールなどで質問を受け付けてくれたので助かった
- 普段学ばない内容を詳しく学ぶことができた点
- この授業がなければ一生触れなかったかもしれない様々な技術に触れ、また、そのことによってよりICTや情報技術に興味を惹かれまひた。
- 丁寧に解説してくれた。
- AIの進歩やその活用を詳しく知れた
- データサイエンスについて、パソコンの機能についてたくさんの知識を学習することができた。
- エクセルなどに強くなった
- Google Colabを用いた授業が面白かった。
- プログラミングを体験することができて楽しかった。
- WordやExcelについて学べたことです。
- pythonの実習がとても面白かった。
- 話し方が上手くて内容が理解しやすい点
- Pythonなどについて学べた点
- 課題の説明が丁寧でよかった。

- オンラインの授業である点。
- 小テストがあるので授業の理解度につながっている点。
- **Python** などのデータの使い方を知れた。
- 分かりやすく授業を展開して頂いた点
- **Word** や **Excel** の使い方だけでなく、普段であれば使わないであろうアプリを使うことによって、たくさんの **ICT** の使い方があるのだと考えることが出来た点
- 分かりやすかった

15 : 授業について改善してほしい点があれば記述してください。 【 記述式 :
300 以内 】

この授業の改善してほしい点として記述された回答は **11** 件（特になし等を除く）あった。全ての回答をそのまま示す。

- **PC** を修理に出していたため、課題ができなかった点。
- 先生の態度がかなり高圧的な点。
- 作業動画の不必要な部分はカットしてほしい。
- 見る動画が多く、苦労した。
- もっとわからない人の気持ちを汲んだ授業であればよいと感じた。最後のバックアップ授業だけでなくはじめに説明の授業もあると、教員と学生の間で受講の方法やマナーなどを共有でき、その後の問題が起こりにくくなるのではないかと感じた。
- 最終回のライブ配信をやめてほしかった。木曜日には対面授業(必修)が **5** 限にあるので、学校で受けて帰るのを余儀なくされる人が多い。
- 小テストの選択肢が曖昧な問題が多かったため、その点を改善してほしいです。
- 授業動画を **90** 分以内にしていただけるとありがたいです。
- 対面授業の直前に **moodle** で連絡してほしい。
- シンプルに面白くなかった。
- 最近、和歌山大学の **Wi-Fi** が弱い上にムードルの調子も悪いので動画がなかなか進みません。期限より前もって視聴しているので大丈夫ではあるのですが、**1** 時間の動画であっても視聴するのに **2** 時間かかることもあるので、左下の先生のしゃべっていらっしゃる様子を削って音声だけにするなどデータ量を減らしていただけると幸いです。

○ まとめ

授業実施形態ならびに教材の提示方法について、受講者から概ね好意的な意見が得られた。また授業の難易度に関しては、授業時間以外の学修時間をみても適切な時間に収まっており、適度であると考えられる。授業全体の満足度をみても約9割の回答者が70%以上と答えており、おおむね満足が得られる結果となった。